2003年度 第3号(通巻23号)

フィールドレポーターだより!!

2003年度 第3回調査

「わが家・わが地域の年中行事」結果報告

今回、お手元にお届けするのは年中行事の調査結果です。私たちが住んでいる「まち」や「むら」、それぞれの家では、一年を通して様々な行事が行われます。それらの行事には、橋や道路の開通式など、そのとき一回だけ行われるものもあれば、正月やお祭り、お彼岸やお盆の墓参りのように、決まった日や時期に毎年繰り返し行われる行事もあります。後者のように、毎年、同じ日に同じ様式の営みが繰り返し行われるような伝承的行事を「年中行事」といいます。日本民俗学では、人々が暮らしにリズムを与える活動として年中行事を重視してきました。たしかに、年中行事は、農業などの仕事にメリハリを与え、休養時間や楽しみの時間となることで、暮らしに彩りをそえてくれます。

では、年中行事を調査することで何がわかるのでしょうか。この調査報告にはふたつの特徴があります。第1に、同じような行事でも地域ごとに個性が加わることを示した点です。第2に、古くからの地域と人々が集まって創った新しい地域という地域特性の違いと年中行事の関わりを示した事です。前者の地域ごとの個性は、多くの地域に共通する正月や盆などの行事を比較するとわかりやすいと思います。たとえば「正月」行事では、お餅をいれた粥を食べる地域がほとんどですが、小豆入りのおかゆにする地域やおかゆと一緒に骨のある魚を食べる地域など、行事に地域ごとの個性が付け加わっています。それらの個性は、地域の暮らしを理解する上で大きな意味をもちます。他方、後者の地域特性の違いでは、古くからの地域と新しく誕生した住宅地という生活条件の違いと年中行事との関連をみています。そのため、「農事」、「神事」などの内容による分類だけでなく、地域の行事と家の行事とに行事を分けています。その結果、新しくできた地域の場合、地域全体で行う行事としては親睦中心の行事が多いことがわかりました。新しく集まった人々が人間関係をつくることをまず意識されるからだと判断されます。このように、地域の年中行事を調査することで、人々が暮らしにどのような判断をしているのか、また、その判断は、どのような生活上の条件からでてきているのかを考えるヒントにもなるのです。

今回の調査では、うまれつつある新しい年中行事にもふれています。新しい行事の登場は、すでに指摘されてきたこととはいえ、今回の調査でより深く知ることができた事項もあります。たとえば、新しい行事が家にはいってくる理由に子どもが関わっているかもしれないというのは、たいへん興味深い指摘だと思います。以上、この調査結果のポイントをいくつか述べてきましたが、何といっても今回の調査の最大の特色は、年中行事を行っている皆さんがお互いの年中行事を知るという調査の方法にあると思います。この調査結果をもとに、ご家族や友人の方々と我が家や地域の年中行事についてお話しをされるのも興味深いことかと存じます。

フィールドレポーター担当 牧野 厚史

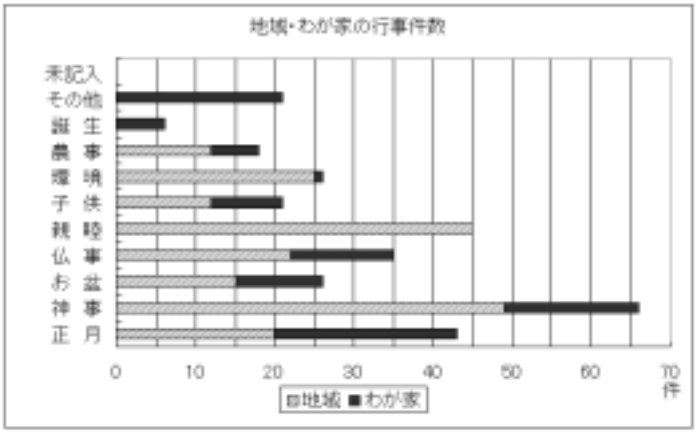
年中行事調査の報告

FR スタッフ　津田國史

『わが家の年中行事』・『地域の年中行事』という項目で調査をお願いして、34 名の方から 316 件の報告があった。　内 13 件の無効回答を除く 303 件を分類し、各項目ごとに個々の行事について検討したまとめを報告します。

集計にあたって『地域の年中行事』と『わが家の年中行事』は、次のような区分で各項目に分類し、どちらにも分け難い行事は報告者のコメントから内容を判断して分類した。

行事区分	地域の行事	わが家の行事
正　月	小正月　初出　正月準備も	餅つき　七草なども
神　事	春・秋祭　おこない　湯神楽	節分　初午
お　盆	地蔵盆	墓参り　お精霊さんなど
仏　事	報恩講　春・秋の永代経など	春秋の彼岸の墓参など
親　睦	地区の運動会　夏祭り　など	該当するものなし
子　供	勧学祭　子供の日　節句など	ひな祭り　節句　バレンタイン
環　境	清掃　区総会　年末警戒など	びわ湖ヨシ刈り
農　事	農休み　泥おとし　共同防除	冬至は農事に分類



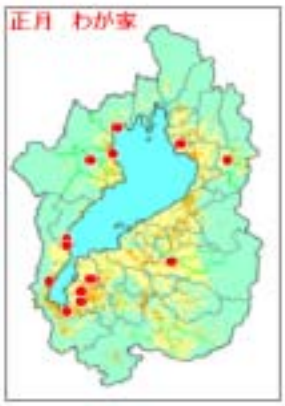
旧地域：　角川日本地名大辞典・滋賀県（昭和 54 年版）に収録の地点を旧地域とした。

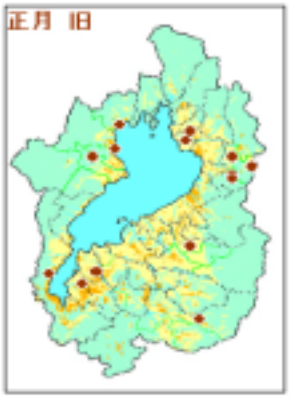
新地域：　上記以外の地域を新地域に分類。

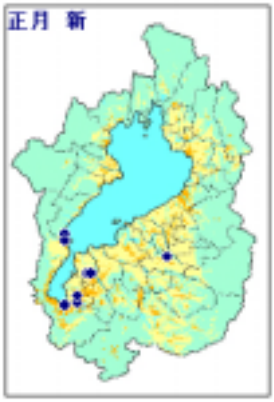
正　　月

	行事名	行　事　内　容
地域	拝　賀　式	区の新年の挨拶。馬渡 1/1 新春祈願祭･松納め･初詣。
	総　　礼	新年の挨拶と年頭にあたり区民の安全と発展を祈る。知内 1/1
	新年ご神火	下丹生 12/31
	正　　月	地域代表者が集まり、神官の祈祷 前野 1/1
	ど　ん　と	正月の飾り物など持ち寄り燃やす。昔から続けられている。 上古賀 1/14
	初　　出	下之郷町 横溝
わが家	お 正　月	氏神様の祭典にお祀りする主人にあわせて、家族全員がお雑煮を祝う準備をし、食卓につく。何事もなくお正月を迎えられた喜びを心から感謝する一時である。穴太 1/1
	小 豆 がゆ	餅を入れた小豆がゆで塩味のおいしいかゆで、今でも引きついでやっている。志賀谷 1/15
	鏡 餅 搗 き	お正月を迎える準備を家族揃って行う喜びを感じます。新居 12/30
	小　正　月 (骨正月)	もち入りのおかゆを朝食に食べる。その時のおかずに骨のある小魚を食べる。知内 1/20
	も ち つ き	わが家で、昔からあまり変わらず続けている伝統行事。正月と冬場の食用として、まとめて半日がかりで7～8升のもちをつき、小さな丸もちにまるめた。 正月以外のものは、水をはったおけにつけて、一冬中食べていた。 南古賀 12/29
	正　　月	大晦日、神棚の清め、お飾り･お供えを新にし、新年を迎へ、元旦早々に三社詣りをすることを年の始めの行事としています。高城 1/1～3
	七 草 がゆ	セリ入りおかゆ餅 もちとセリ入りのおかゆを朝食に祝いました。湧水のきれいな所に自生しているのを取って来て使用。知内･志賀谷･東矢倉･大江 2 丁目 1/7
	年　越　し	そばを食べ除夜の鐘を聞きながら 1 年をふりかえり、無事であったことに感謝。小野水明 12/31

「地域」で行われる正月の行事は神事と重なる部分もあるが、行事内容は年の初めにあたっての地域住民の安全・平安祈願が多い。
正月のお飾りを燃やす、どんど（左義長）も正月の地域の行事として各地で伝承されている。
『わが家』の正月行事は、『地域』の行事より３件多く『わが家』の年中行事の中では最も多い 23 件の報告があり、正月行事はわが家においても特別のものであることがうかがえる。







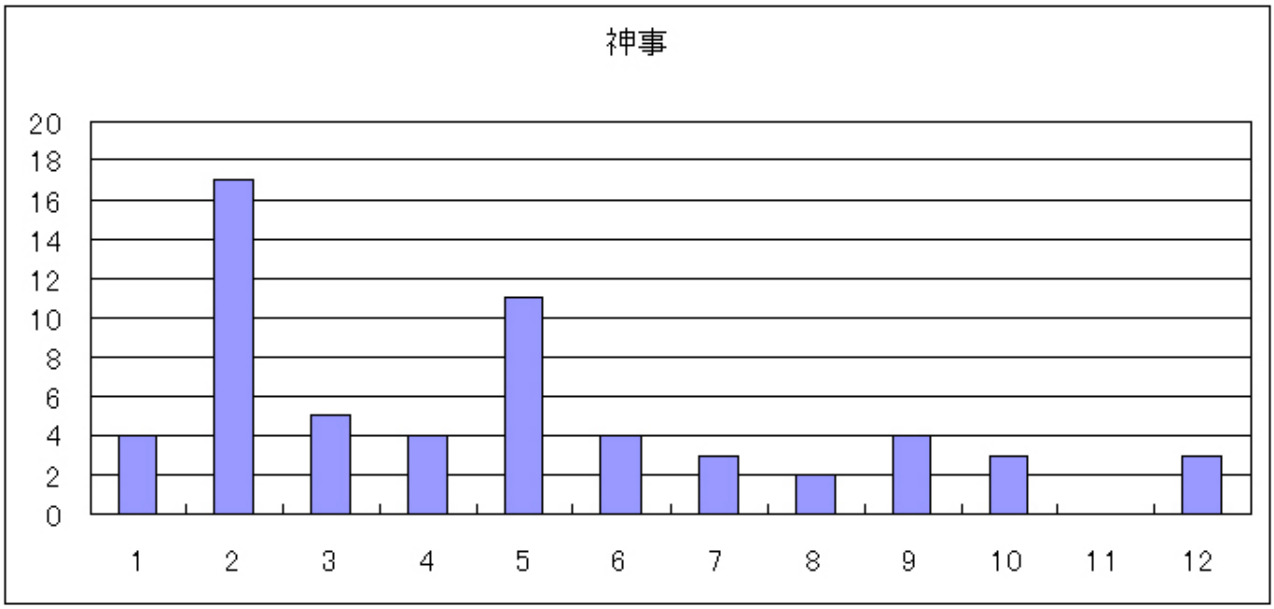
神　　事

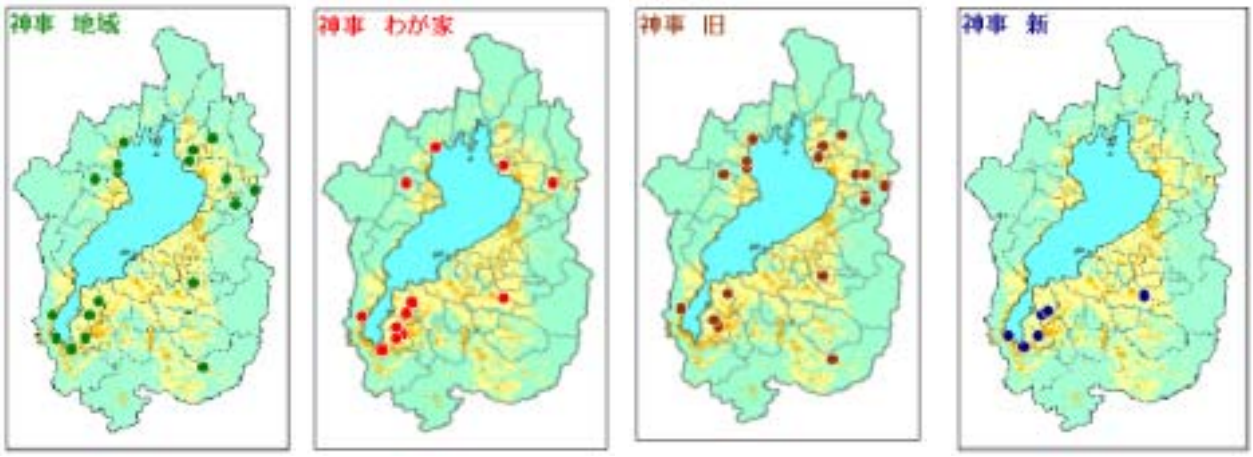
	行事名	行 事 内 容
地域	獅子舞	悪魔を払うため、伊勢太神楽が獅子舞を奉納する。笠原町 3/10
	獅子頭	ししまいを代表３人が８６戸を回る。前野 4/29
	ケンケト	ケンケト踊り、花傘奉納、子供みこし。前野 5/3
	氏神例祭	昔は競馬の出る賑わいだった。饗庭･岡 5/3
	おこない	お鏡･繭玉･饗応盛（きよもり）を供えての祭典･直会と続く。馬渡
		江戸時代から和服に裃つけて行ってきた、餅つき道具･お供え等一式、たくさんあって書ききれない志賀谷 2/10
		新居では男性のみ参加 新居 2/第３日曜
	湯神楽	春祭りの一部 馬渡 4/18 湯の華祭り 大釜に湯を沸かし、神官が笹で村人に湯を掛ける。高畑 3/18 下丹生 5/3
	干支祭り	霜月祭りとも、12 月の最初の未の日に行われる。知内。12/未の日
	鎮火祭	昔にあった大火の日を忘れないため火の用心を祈願。知内。 本来の日から日曜に変わった
	足中祭	村同士の境界争いを記念、神代おどり･長袖衆のにらみ合いなどがある。上古賀 5/3
	どんど	松の内各家で飾った、しめ飾りを持ち寄って神社の総代達がどんどする。穴太 1/15
	明神さん	長寿を願う秋まつりだが、農作業をひかえて郡内から多くの参拝者が集まる。（なるこまいり）高島郡域 9/5
わが家	川裾まつり	近郷の人達の参拝と納涼を兼ねた子供連れで賑った。知内 7/28～29
	節分・としこし	節分・　豆まきをして鰯を焼き食べる。　穴太町 2/3
	初午	初午の日炊いた小豆御飯１杯と一枚の油揚げを切らず煮ず朝から神棚に供えて夕方にさげて小豆ご飯を茶碗１杯と油揚げ一枚を近くのお宮さんの境内に持って行き置いてきました。知内２月
	春祭り	ちらし寿しを作り（餅は嫁いだ娘の家へ持って行く）焼さばと共に食する。新居 4/10
	まつり	南古賀 5/3
	秋祭り	灯明が神社の境内に灯もり、氏神さんの加護を感じます。新居 9/7

神事は『地域』･『わが家』を含めて最も報告件数の多かった行事で（66 件）、『地域』の行事中でも最多（48 件）を占める。その中で旧地域とされる集落での行事が 41 件と卓越しているのも、神事が地域と深くかかわっていることを示すものだろう。古くからの伝承を誇りに、継承することを地域の義務としている村人たちに支えられ、様式の変化を受け入れながら行われている。

『わが家』で多いのは節分で、この行事は地域の新旧にかかわりなく、各地で行われている。「はすのなれずし」を漬けて祭の宴に供した湖西の家などはもう珍しい存在となってしまった。

月別では、２月と3月に行事の件数が多い。 ２月に「おこない」と「節分」が、５月に「春祭り」が各地でおこなわれている。





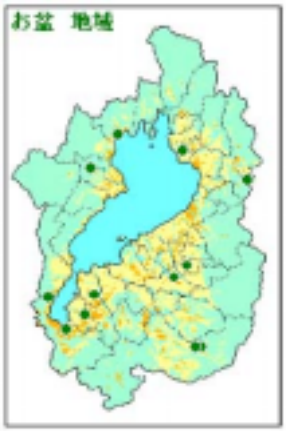
左義長(笠原町：ツブエ神社 1 月 14 日)

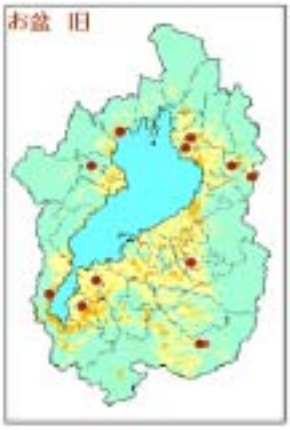
獅子舞(笠原町：3 月 10 日)

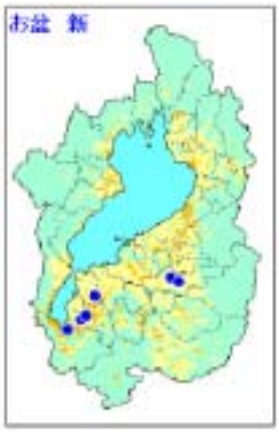
お　　盆

	行 事 名	行 事 内 容
地域	地蔵盆	各町内の地蔵尊の安置所　穴太　8/23～24 新しい団地が生まれ、子ども達の成長を願って建立した。東本町 近年、あちこちの地蔵が集められてからまつるようになった。上古賀 子供はとても楽しみにしているが、親の負担大、一日に短縮してほしい。　美春自治会
わが家	墓参り	先祖の墓に行ってその周辺を掃除し、線香をたき、しきびを供えて、おまいりします。野村　8/14 事前の墓掃除の思い出が強い。笠原町 8/4 お内仏の荘厳・年次の寺へお盆参り・お墓まいり。新居　8/14 私の家は門徒で、お盆におしょらいさんが来られないので、私の家から嫁いだ妹達がお盆のあいさつに来てお墓とお仏壇に参ってくれます。知内　8/15
	お精霊さん	天台宗であるが佛様に季節の農産物、果物、お萩などをお供えする。夜になると、御詠歌をあげて佛様を拝む。穴太　8/12

『地域』のお盆行事は地蔵盆につきるようである。
子供を対象とした地蔵盆行事は、それまで行われてなかった地域でも新しく始められたところもあり、お地蔵さんが子供の守り仏であることを示している。
わが家で行われているお盆行事は墓参りがほとんどである。
地蔵盆を家でも行っている家もあるようだが、子供の成長と共になくなった。
旧地域の天台宗の家では、お精霊さんを迎え、送るのがお盆の最大の行事で、お盆といえばこれに尽きることがうかがえる。







仏　　事

	行事名	行　事　内　容
地域	大般若	数百部の経典の転読　神仏習合の神社で夏に行う。笠原町　7/10　前野　1/15
	まわり仏さん	区内の人との親睦もはかれる場。新居　3/15～16
	報恩講	親鸞聖人の命日に報謝する。新居　4/中旬頃
	だんごまき	涅槃会お参りのあと、だんごやみかんが本堂で撒かれる。上古賀　2/15
	観音さん	山伏姿の行者さんが三十三ヶ所のお砂踏みして観音講を勤める。 知内　8/17
	施餓鬼	前野　8/

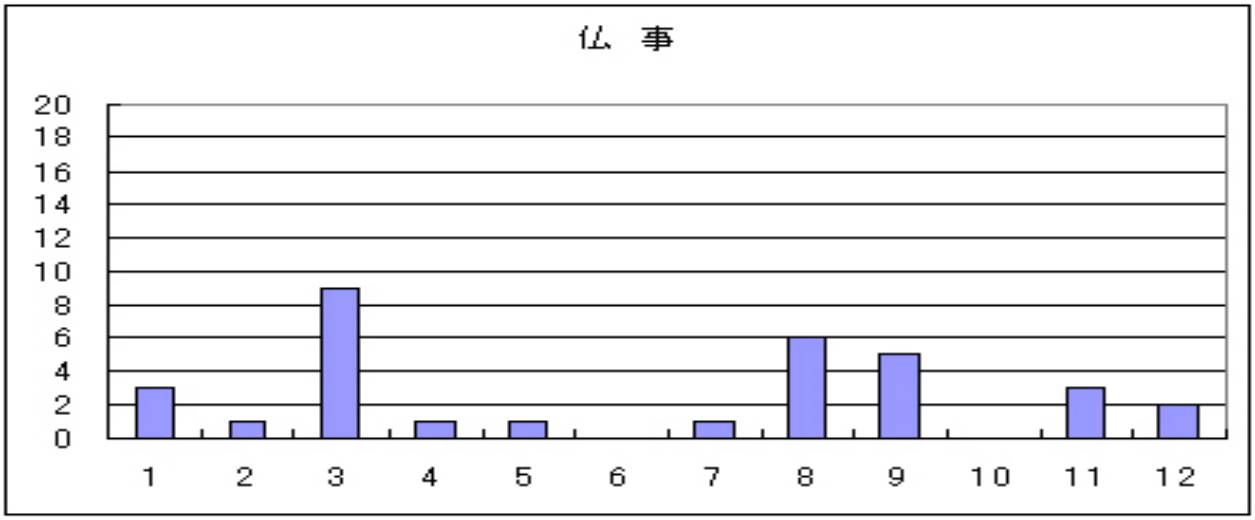
地域行事としの仏事は 100%が旧地域に分類される地区であり、新地域では全く行われていない。

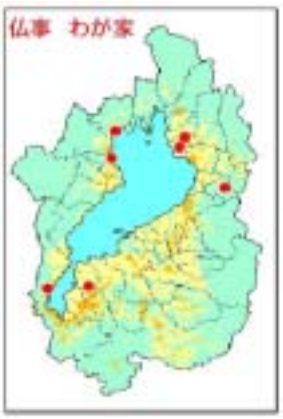
『地域』では 8 名－22 件、『わが家』では 7 名－12 件の報告があり、これらの中で新地域とされる地区からの仏事の報告は無かった。

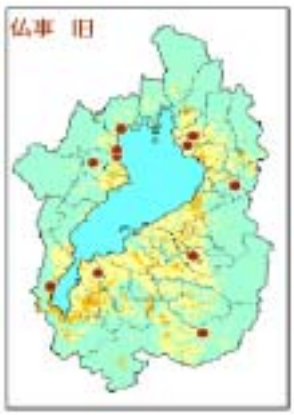
全てが旧地域での春秋の彼岸会・慰霊祭・供養などで、仏事は『地域』の行事として旧地域に溶け込んでいる。

『わが家』の行事でも、旧地域での、先祖供養と春秋の彼岸参りが大多数を占め、新地域から 1 件の春秋・お盆の供養報告が目をひいた。

３月と 9 月に仏事が多いのは彼岸の墓参、8 月はお盆の墓参である。







親　　睦

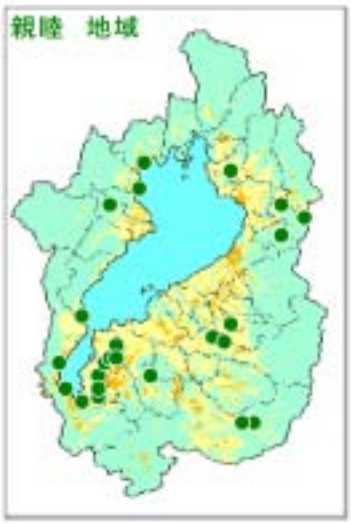
	行事名	行　事　内　容
地域	盆おどり	現在は集落の運動場、以前はやぐらの上で、音頭とりが高島音頭などを披露しておどりが盛り上がった、夜店もでた。上古賀　8/15z 前後の土日
	夏祭り	納涼･盆踊･地蔵盆を兼ねたような行事も多い。以前は盆踊りをしていたが、親睦を兼ねた納涼会になった。笠原町 8/地蔵盆に近い土日
	運動会	出場者集めに役員が苦労する、老人が多くなり若い人は出ない。 小野水明　8/ 運動が得意でないので、参加を募られるととってもイヤな気持ちになる。 見春　10/末 選手が決まるまでは、役員がとても苦労である。穴太　10/第一日曜
	ペーロン競漕	湖国ならではのイベント、水しぶきを上げ夏を満喫します。 今津中浜　7/下旬
	敬老の日	敬老の日ができてから　笠原町･横溝･下丹生･柏原　9/
	ハロウィン	
	クリスマス	

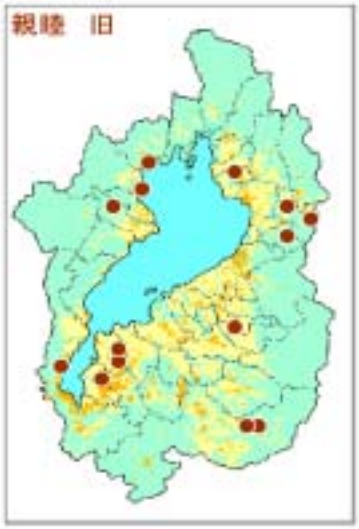
湖南地域に多くみられ 45 件中 25 件、旧地域とされる集落でのこの親睦行事が、新地域よりも多いのが特徴。(28 対 17)。

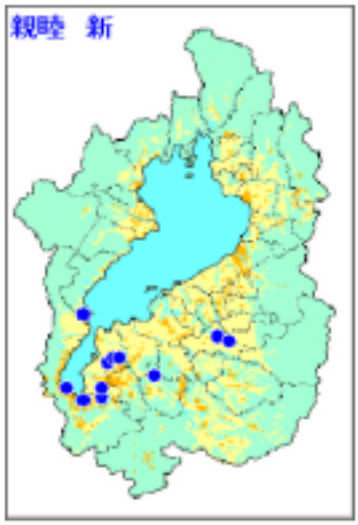
新しい行事として「ペーロン競漕」を『地域』の行事として取り入れた、湖畔の今津中浜の行事がある。他に敬老の日を『地域』での行事としているところもあり、新しい地域行事として定着したものと言えるだろう。

ハロウィン・クリスマスを地域の行事としてはじめた所があり、これは最初は『わが家』の行事であったものが『地域』の行事に進展してきた極めて珍しい事例である。
秋の運動会は調査各地点で行われ 19 件、夏祭り 14 件よりも多かった。

地域行事担当の多くの方が運動会など身体を使う行事に、特に若い人の関心の薄いこと、参加者の少ないことを嘆いておられるのも、地域の新・旧ともにみられる現象である。







子　　供

	行 事 名	行 事 内 容
地域	勧学祭	小学校に上がる人の学業向上、交通安全を神社が祈祷。 南大萱･知内･見春･柏原 3/31
	花祭り	お花を供え、甘茶をおかけしお釈迦様のお乗りになった象（作り物）を引き町内を練り歩く。横江町 4/第一日曜
	ハロウィン	北山台･横溝
	クリスマス	北山台･横溝
わが家	ひな祭り	子供たちの健やかな生活を念じて。 新居 3/3
	端午の節句	武者人形･柏もち･すし･オードブル･ビール。今年3月に生まれた息子の長男が主役で私達夫婦、息子夫婦、孫娘、私の母、実家の両親で子供のすこやかな成長を祈って。知内 5/5
	夏休み宿題 制覇ツアー	写生大会･思い出ツアー･家族宿泊体験など、ありとあらゆるものでカレンダーをうめつくす。一里山
	大学の学祭 めぐり	タウン誌の特集記事で日程を把握。近隣校（竜谷･立命･滋医大） 一里山
	バレンタイン	東矢倉･大江

『地域』で小学校に入学前の児童を対象に、これからの健やかな生育を氏神に祈願する行事はいつの頃から行われてきたものか定かではないが、親の願いと地域の期待とが勧学祭という形になったものか。

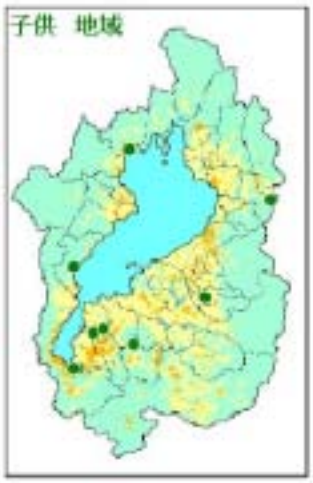
花祭りの行事を地域でおこなうのは珍しいものとなった。

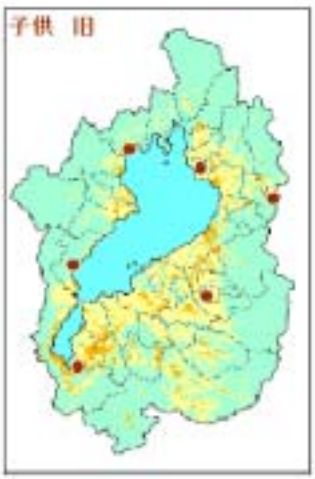
新しくハロウィン、クリスマスといった行事を、子供を対象に地域で行うようになったのが注目される。

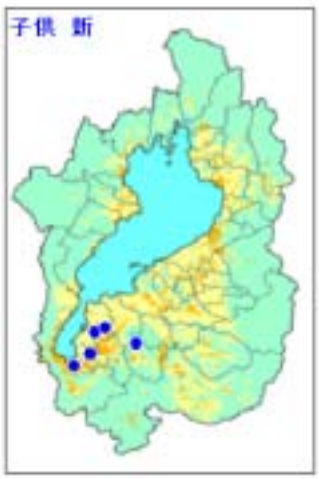
『わが家』ではひな祭り･端午の節句が子供対象の行事として支持されているが、新しい行事として、バレンタイン（ホワイトデー）も加わった。

まったく独創的な「宿題ツアー」･「学祭巡り」などの行事を創設された家もあり、行事の多様化の始まりかも。

子供の成育につれて、『わが家』の行事内容が変化する図式は、成人儀礼といわれる子供対象行事の特徴ともいえる。子供がいなくなったからと、それまで続いて行われてきたわが家での行事を行わなくなった報告が目についた。



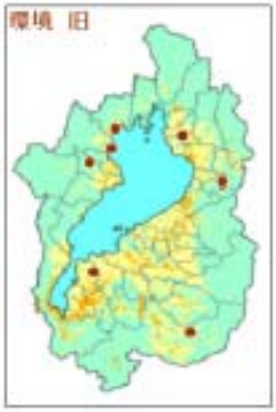


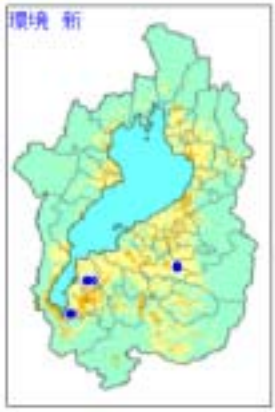


環　　境

	行 事 名	行　事　内　容
地域	道普請	道路の修復、舗装道路が増えて作業が少なくなった。馬渡 3/1４頃の日曜
	庄司普請	在所の川の流域ごとに川掃除、毎年２名が当番・主催、一戸に一名参加。馬渡　6/27 頃最終日曜日
	町内清掃	琵琶湖の日前後　不参加料 5。000 円八日市
	さんまい掃除	新しい斎場ができるまでは「さんまい」とよばれるところへの土葬であり、区の輪番で草刈をした。知内　8/4
	墓地清掃	７～8 月のお盆前に各地で　知内・前野
	歳末夜警	自警消防団員が、火を使うことが多い暮れに待機し、消防車で火の用心を呼びかける。上古賀　12/29～30 歳末警戒として消防団が行っていたものを成壮年会が引き継いで行っている。笠原町　12/25～30
	霊仙登山（清掃）	霊仙お虎ヶ池の清掃 下丹生　10/3
	川掃除	どぶ掃除と共に各地で。下之郷・知内・馬渡　6/・7・8/
わが家	琵琶湖のヨシ刈り	体験ツアーに行ってみると、次女がハマった。つづけざまに行きたいと言う。長女はぬかるみにハマった。夫もそこなし沼にハマった。一里山　12/～2/

26 件の報告の内、25 件が地域での行事であった。『わが家』の行事として環境に関わる行事をしているのが一件あった。
『地域』ではそのほとんどが清掃作業で、川掃除、墓掃除がその主なものである。
清掃登山をしているところや、ビーチ浜の掃除など、それぞれの地域の特徴がでている。
家族で「びわ湖のよし刈り」に参加は湖辺ならではの環境行事といえるだろう。

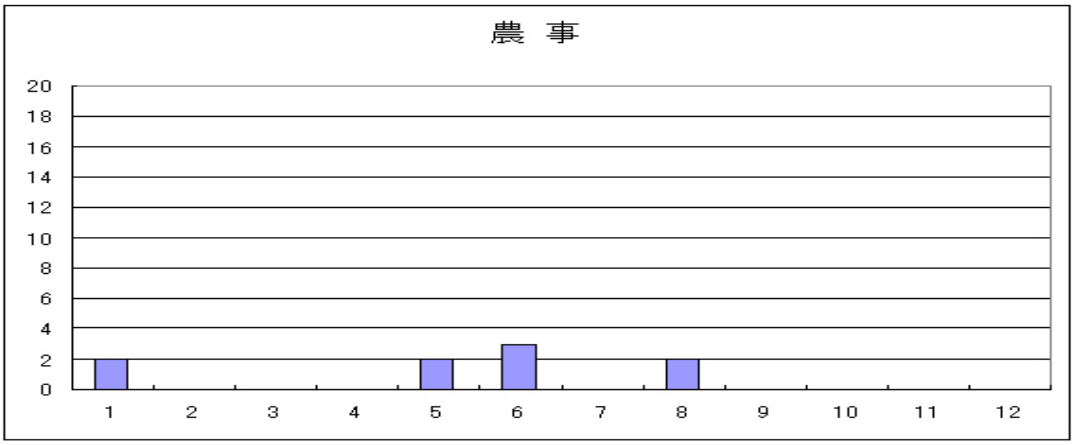


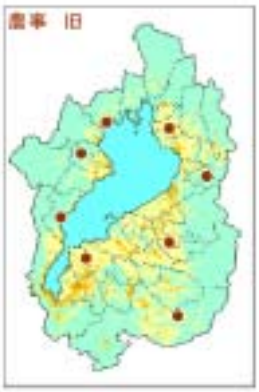


農　　事

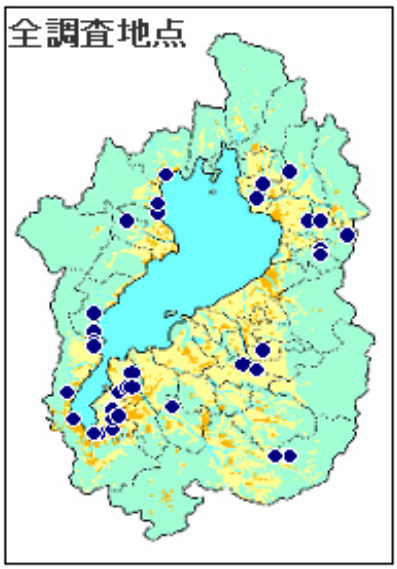
	行事名	行　事　内　容
地域	粥祝い	小豆粥を炊く折に一緒に入れた篠竹の中に入った米･小豆などの数で当年の作柄を占った。笠原町 1/14
	泥おとし	田植えの終わり休み。木戸 5/末日曜
	麦初穂（むぎばっほ）	初夏に獲れた麦を各戸から集め年行司の費用としていた。知内 8/18
	秋ばたけ	稲刈り前に、豊年まつり。木戸 10/1
わが家	泥落とし（ドロトシ）	春の農作業（田植えなど）が終わった骨休め。南古賀 6/30
	田の神さん（タナカミサン）	農家らしい伝統行事と子供心に思っていた。翌日は12月で冬の到来･暮れまであと1ヶ月を感じさせられていた。南古賀 11/30
	冬至	ユズを浮かべた湯に浸かり、夕食に南瓜を食べる。小野水明 12/22

『地域』でこの行事が多いのは、地域住民の多くが稲作に従事して、作業内容も共同的側面があること、またすべて旧地域で行われているのも当然の帰結であろう。
湖西地域に多く、湖南地域ではこの行事が少なかった。
『わが家』でもこの行事の報告は湖西のみ（マキノ･安曇川）である。
秋に行事が行われるのは、稲の収穫を感謝するもので、春は田植えの骨休めがその趣旨のようだ。





行事についての思い



○　隣組家族のほとんど全員が一堂に会する親睦の場として有効に機能していたと思う（農事・粥祝）

○　昔は大型の神輿、各家から馬が参加、学校は午前中で休日となり、集落あげて参加した。（神事・祭り）

○　日曜日への変更、祭りだから酒が飲めて、ご馳走が食べられることが喜びではなくなった（贅沢な食生活）、段取り方の負担の軽減・簡素化への思いが強い。（神事・おこない）

○　皆なで清掃活動することは良い、もっと回数を増やすべきだと思っています（環境・道普請）

○　真宗門徒にとってお正月のような日なので大切な日です。この日を無事に迎えられ参拝できる喜びに包まれます。（仏事・報恩講）

○　２０年ほど前、子供みこしの寄進があり区内を巡行しますが、近年子供の数が少なく淋しい。（神事・祭り）

○　新興住宅地のため、良い催しと思う。（親睦・夏祭り）

○　一年に一回、参加して身体を動かし、地域住民の交流をはかれるのは良いことだと思う。（親睦・運動会）

○　農作物の豊作を願い、地域の人と交流を深める良い機会です（農事・いまず祭り）

○　成人の日の変更により開催日が地域により異なる、祝日の変更により伝統行事が変質・縮小されることが心配です。（正月・どんど）

○　夏から秋への季節を感じる行事で、地域の多くの人が参加する楽しみなものだった。道路が大渋滞するくらいの参拝者や露店が出たが、今は淋しい。（神事・祭り）

○　今では音頭とりの生の声が聞かれなくなり残念で、子供を中心としたリクレーション的なものとなってきた。（親睦・夏祭り）

○　重要な役が当たると準備など大変で、隣組で交替してもらったりしている。たいそうな神事でもないが、将来、役ができない人が多くなると大変と思う。（神事・祭り）

○　自治会あげての大きい行事である。昔から住んでいる人、新しく住んだ人、が入り交って、祭りを盛り上げる様は、例えようもなく嬉しい。（神事・祭り）

考　　察

『地域』・『わが家』の行事に対する思いは、各人その行事と報告者の関わり方によって異なる。

『地域』の行事では、これまで地域に継承されてきた行事をなくすことは出来ないとの思いは強いが、その行事に必要な人員、材料・資材、時間などの制約からやむなく縮小・改変する今の地域の様子がうかがえる。

『地域』での行事の日時を参加者の集まりやすさを考慮して、それまで行われてきた定例の日から土日に変えたものが多く、これまで継承されてきた祭礼日を遵守しているものは珍しい存在となっている。敬老の日は地域行事として定着してきたようである。

『わが家』の行事では、子供がいるから行っていた行事が、成人という巣立ち現象と共にその目的を見失い、行事内容もそれにつれて変化、縮小、消滅していくようである。

珍しい事例であるが、『わが家』の年中行事に、「琵琶湖岸のヨシ刈り」を子供と始めた家、「震災の日（1 月１７日)」を設けた家、「年末第九交響曲の日」など、わが家の行事なればこそのものもあり、これからどのような『わが家』の行事が創られていくのか注目したい。

湖西地域では農事に関わる行事として、供え物を作りわが家の神棚に供える、稲作の予祝行事が継承されている。稲作りが機械化されても自然と関わることの多い作業であるがゆえに人々の祈りをみる思いがする。

地域、世代などによる行事への思い、関わりかたの差は今回の調査ではあまりなかった。

数値から見た行事

調査の対象に地域等の偏りがあるので、量的な考察は難しいが、調査結果からいうと、全項目を通じて最も多かったのは神事の 66 件で、次に親睦 45 件、正月 43 件、仏事 35 件となる。

『地域』でも神事は 49 件と他のどの行事よりも多くて、親睦行事とともに『地域』の主要な行事となっている。ついで環境 25 件、仏事 22 件、正月 20 件であるが、地域においては環境整備におおきなウェイトがあることがわかる。

『わが家』の最多は正月の 23 件、次にその他に分類される各戸の行事の 21 件、神事 17 件、仏事 13 件と続く。伝統的なものだけでなく、新しく多様な年中行事が各家々で生まれている。

『地域』でも『わが家』でもお盆行事が意外に少なく、旧地域では 20 件あったが、新地域では 6 件で、新地域の仏事の 1 件と共に少ないのが注目される。

月別でみると、一番行事の多い月は 8 月の 52 件と、1 月の 50 件が他のどの月よりも多く、「盆・正月」と云われるのが肯ける。因みに最も行事の少ないのは 4 月の９件で、７月の 11 件がつぎに少ない月である。

四季では、春 49 件（3/4/5 月)、夏 75 件（6/7/8 月)、秋 46 件（9/10/11 月)、冬 98 件（12/1/2 月）となって冬と夏に多く、春と秋は少ない。

新・旧地域の比較

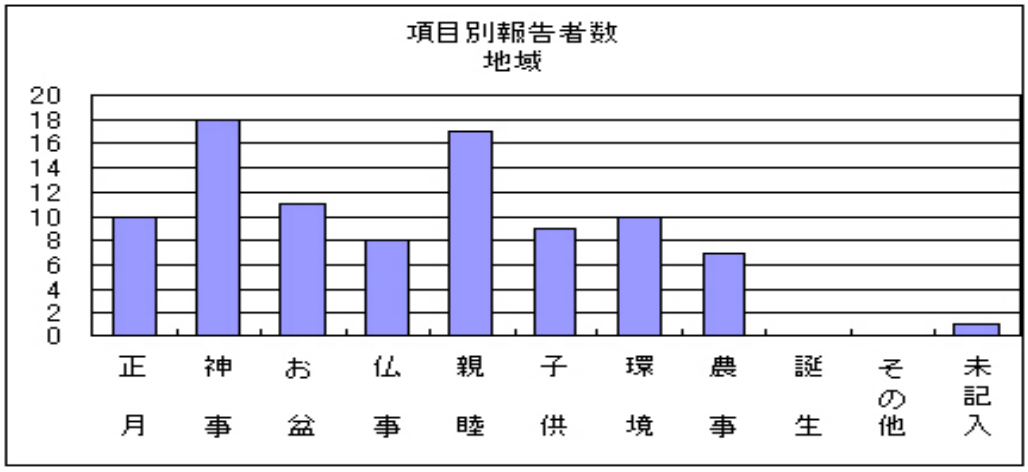
全行事数では旧地域の 234 件に対して、新地域は 86 件と半数以下で、すべての行事数の少ないのが特徴である。その少ない新地域の行事の中では、親睦が 17 件と最多であった。あとは神事と正月、子供、その他がほぼ同数で（11～14 件）旧地域にみられる神事、仏事、正月、親睦、環境、お盆といった順列は見られなくて、ほとんどの行事が同数にちかく、どれかの行事が多いといった特徴はみられなかった。

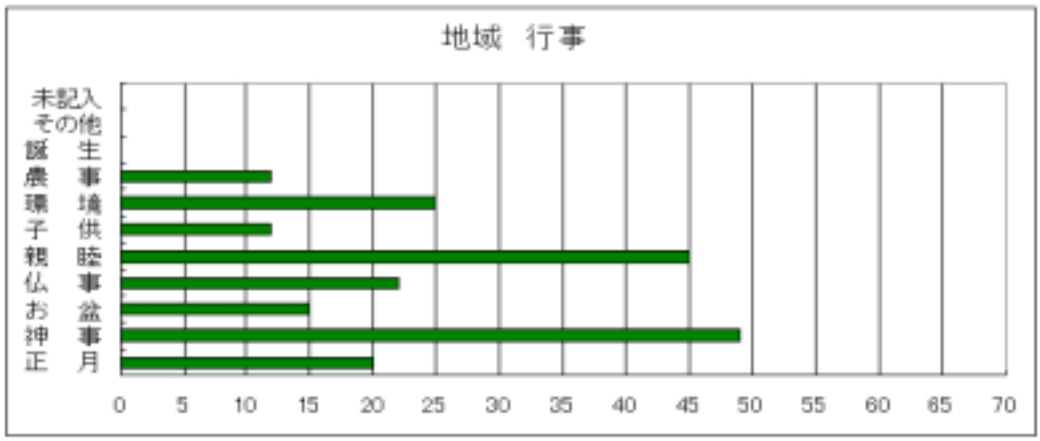
住年数では

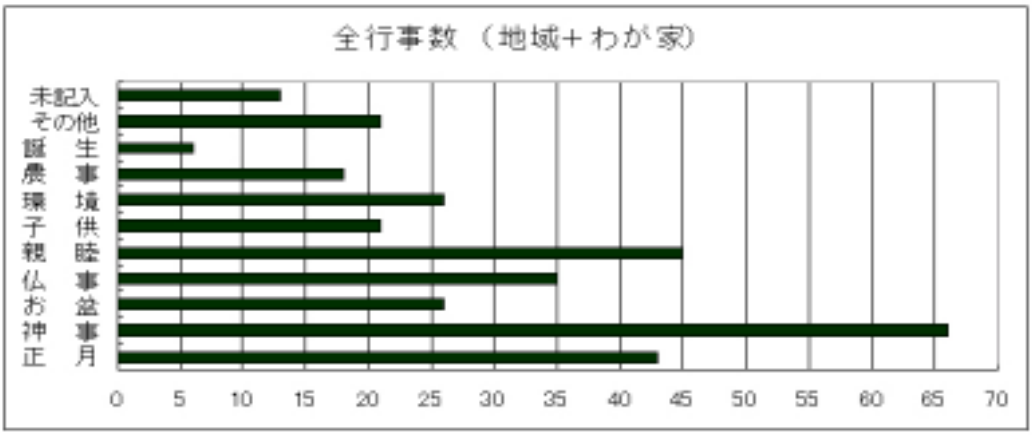
居住年数でみると、報告のいちばん多かったのは、11～20 年その地に住んでいる方７名 67 件、つぎは 21～30 年の７名 29 件、31～40 年の６名 41 件、1～10 年の４名 30 件、71～80 年の 3 名 32 件 12 名、61～70 年の１名 43 件となり、20 年未満の居住年数の方からの報告が多かった。

この結果から新地域に住む方からの報告が多いと短絡的に考えることは避けたい。居住年数＝暦年数とはならないし、高齢者＝旧地域と考えるのも誤りだろうから。

報告者の居住地区の新・旧の分類は、角川日本地名大辞典・25 滋賀県（ 昭和５４年初版）に収録されている地点を旧地域とし、それ以外は新地域と分類して地域の新旧の区分を行った。現在進行中の町村合併による新行政区分は今回の報告には反映させていない。







年中行事はどう変わったか

地　域

なくなりはしないが、行事の様式が変化して土･日曜日になったり、行事内容が簡素化された行事が多く見られる。

神事･祭礼につきものの供え物･食事も材料の入手が困難であったり、世代が代わって作れる人が居なくなったりで、この祭礼にはこのしつらえで、この食事をと受け継がれてきたものが消えているようだ。

わが家

子供の成長に合わせて行われて来た行事が多く、その子供が成長するとともに、もう行わなくなったことが多いのが特徴。例えば、節分の豆撒き、節句など。

人手がなくなり出来なくなったもの、材料がなくなり出来ないものなど、生活様式の変化に起因し、消えて行った行事が多い。

	なくなった行事	新しく始まった行事	継承されている行事
わが家	節分の豆まき 節句　七夕　月見 味噌搗き　スキー旅行 煤払い　精霊流し 水神祭　大掃除 菖蒲湯　端午の節句 親の誕生会　盂蘭盆会 子供の日　子供の誕生日	夏休み宿題制覇ツアー 大学学祭巡り びわこのヨシ刈り びわこ毎日マラソン応援 新年会年末第九交響曲 震災の日	正月　お盆　墓参り お精霊さん　七草･小豆 粥　田の神さん　雪吊り 先祖供養　初午　節分 さいたて　お取越し 春･秋彼岸　春･秋祭り 月見　そぶおとし
地域	虫送り イモチ送り	ペーロン競漕 敬老の日 クリスマス ハロウィン	盆踊り　大払い　月次祭 おこない　どんど　祭り 地蔵盆　泥おとし　托鉢 道普請　観音さん　　報 恩講　湯神楽　大般若 万燈祭　秋ばたけ 伊勢講　農休み

『地域』『わが家』ともに、なくなったものに共通して、人、材料が大きく関わっていて、年中行事とは人の生活そのものであり、人に限りなく密着して在ることがわかる。
これまで継承されてきた年中行事も始りの形から変化して、行いやすい今の形になってきたものだろうが、時代の変化に呼応して年中行事も少しずつ変化していくようだ。
地域で継承されてきた年中行事をなくすには地域住民の同意が必要だが、わが家ではその制約は少ないぶん柔軟に対応されているようである。

伝統行事が次第にすたれるのは、家中心主義から個人主義に変わってきたからかもとの指摘もあり、人、物ではなく、関わる人の裡にその最大の要因があり、年中行事の盛衰は、関わる人の思惟にあるのではとの思いも強い。

以上

Appendix 1

わが家の年中行事調査について

ＦＲスタッフ　津田　國史

このところしばらく、自然科学系の調査が続いていましたが、今回は久しぶりに社会科学系の、「わが家の年中行事」を調査対象に取り上げました。

年中行事は古く平安時代の宮廷にその源があるとの説もあります。
そうした状況のなかで、これまでの伝統的な年中行事とは、発想も内容も全く異なる年中行事が定着し始め、どちらかといいますと、この新しい行事の方に.わたしたちの関心が移りはじめています。

この年中行事を、琵琶湖博物館のフィールドレポータが、その調査対象に取り上げたのは、伝統的に継承されてきたと思われる年中行事が、いま琵琶湖をとりまく近江の各地や、それぞれの家で、どのように営まれ、どのように変わってきたかを調べ、資料として後のち比較できるよう残しておきたいと考えてからです。

古くからその土地にお住まいの方は、それなりに土地の習俗に馴染み、年中行事と自分の家の生活とが一体化して、ごく自然に行事を営まれていることと思います。
そのようななかで、新しく滋賀にこられた方は、自分たちの地域とめ繋がり、まとまりなどの目的で新しい行事を行ったり、子供たちの生活に合わせて、新たに行事を始められた所も多いのではとも思います　そこで、
今回の年中行事調査は、とくにわが家の年中行事に主眼をおいて調査することにしました。

* わが家ではこんな年中行事をしていますというのをお知らせ下さい。

* わが家ではなにもしていないが、わたしの住んでいる地域ではこんな年中行事をしていますというのでも結構です。

* また今は無くなったが、昔はこんな年中行事があった、こんなことを聞いたというのでも結構です。

* 今回の年中行事調査の締切りは 04 年 6 月 30 日とします。それまでに出来るだけ多くの報告をお寄せくださるようお待ちしています。

* ご記入が面倒な方は、行事例(P3)に〇をしてくださるだけでも結構です。

記入にあたつての注意点:
報告は、ご面倒でしょうが、1 件につき 1 枚の用紙にお願いします。
これまでの調査報告で、1 枚の用紙に数件の報告を記入される方がありましたが、報告をまとめたときに集計が煩雑になりますので(どちらに分類すればいいか、ご本人にお尋ねする事に)ご賢察いただき、御脇カをお願いします。

P4･5 に、FR スタッフで記入テストしたものを同封しました、みなさんの記入の参考にしていただければ幸いです。

さきにも書きましたが、一年間の行事をそれぞれ一枚に記入するのは、大変に根気のいることです。
とてもそこまではと、お思いの方は、行事例(P3)の用紙の該当する項目のあたまに O を付けていただくことで、報告に代えてくださっても結構です。
その際は、わが家の行事と、地城の行事が区別できるよう印を○と△などに分けでください。また、一つの行事名ではあるが、わが家と地城の両方でという方は両方の印をお願いします。

行事の画像(デジカメ･フイルムカメラどちらも)などをお持ちでしたら、報告と共にお送り頂けますと、報告を画像で説明できる、とでも効果的な資料となりますので有難いです。
その場合、公表を考慮して、肖像権などの問題をクリアーするため、予め了解を取り付けていただきますようお願いします。また、対象行事名･撮影年月目･撮影場所･撮影者などの詳細メモもお願いします。

調査用紙の足りない方は、面倒ですが、コピーしていただくか、交流室までご連絡ください。

04/03/02

年中行事　例

現在行われていると思う年中行事を挙げてみました。これを参考にしてください

春	1月　正月	2月　節分	3月　桃の節句
	七草粥	バレンタインデー	ホワイトテー
	小正月	立春	春の彼岸
	成人の日		卒業式
	鏡開き		イースター
	出初		
夏	4月　花見	5月　子供の日	6月　父の日
	入学式	母の日	
	ミドリの日	春祭り	
	花祭り		
秋	7月　七夕	8月　お盆	9月　敬老の日
		夏祭り	秋の彼岸
		地蔵盆	月見
冬	10　月運動会	11月　七五二	12月　忘年会
	秋祭り		冬至
	ハロウイン		クリスマス
			煤払い
			大晦日
			NHK紅白歌合戦
			ゆく年くる年

左の例以外にも下のような行事が、家庭ではおこなわれているとおもいます。

子供の誕生日
祖父母の誕生日
結婚記念目
初○○･○○初め･○○納め
衣がえ
社員旅行

調査用紙一枚ごとの記入が煩わしいと思われる方は左の該当する項目の頭に○を付けていただくことでも構いません。

その場合、自分の家の行事と、地域の行事が判るように、印を変えてください

Appendix - 2

2003年度 わが地域の年中行事調査用紙 _____

名前_____

調査者住所_____市_____町村　　メッシュコード_____

A　・あなたが今の地に住まわれてから何年になりますか_____年

B　・あなたの家で年中行事がありますか

1・ある　　ない方は 7・へ

2・ある方はその行事の名前（用紙1枚に1行事でお願いします）

3・行事の行われる月日・ 月　　日・期間　　日間

4・行事につかわれる物(道具・服装・食事)行為・所作なども

5・行事についてのあなた（参加者）の思い

6・他の日にはないこの日だけの特別な事柄などあありましたらお書きください。
また由来などもわかりましたらお願いします。

7・わが家に依然あった行事の名前・日時。なくなった理由、その行事が変化した様子などもわかる範囲で書いてください

わが家行事の画像などありましたら、好評を前提に提供をお願いします。

2003 年度 わが地域の年中行事調査用紙 _____

名前_____

調査者住所_____市_____町村　　メッシュコード_____

A　・あなたが今の地に住まわれてから何年になりますか_____年

B　・あなたの地城で年中行事がありますか　　地域名_____

1．ある方はその行事の名前（用紙１枚に１行事でおねがいします）

2・行事の行われる月日・　月　　日・期間　　日間

3・行事の行われる場所

4・行事の由来(行為・所作なども)

5・行事を行う人(主催者)、　　参加者　　資格

6・行事につかわれる物(道具・服装・食事)

7・行事についてのあなた（参加者）の思い

8・他の日にはないこの日だけの特別な事柄などあればお書きください。

9・その行事はあったほうがいい（なくてもいい）と思いますか、その理由など書いてください。

1・あったほうがいい　　2・なくてもいい

10・あなたの地域の年中行事に関して思っておられることを書いてください。

年中行事の画像などありましたら、好評を前提に提供をお願いします。